

サポート詐欺によるパソコンの遠隔操作被害について

この度、公立大学法人奈良県立医科大学職員の個人所有のパソコン1台が、いわゆる「サポート詐欺」による遠隔操作を受け、修理費用を要求される事案が発生しました。また遠隔操作中は当該職員の所有するパソコンに保存されていた個人情報を含むデータが閲覧可能な状態であったことが判明しました。

このような事態を招いたことを深くお詫びいたしますとともに、再発防止に努めてまいります。

【概要】

1 経緯

令和6年3月23日16時30分頃に、職員がパソコンでホームページを閲覧中に「スパイウェアに感染したため電話をして下さい」と偽警告メッセージがパソコンの画面に表示されたので、指示どおり電話をかけた。その際、遠隔操作アプリのダウンロード等の指示があり、操作をした結果、遠隔操作がはじまり、セキュリティ上の不具合があると指摘されて、修理代5万円などの金銭要求があった。不審に思い電話を切るとともに、パソコンの電源を切り、遠隔操作を停止させた。

2 漏えいのおそれがある個人情報

相手方がパソコンの遠隔操作ができる時間中（3月23日16:40～17:10）は、次の個人情報を含むデータが閲覧できる状態であった。なお遠隔操作されていた画面上では、データのダウンロードや、閲覧する操作は確認出来なかった。

- ・研修会の受講履歴「氏名」 121名分
- ・超過勤務実績「氏名・職員番号」 20名分

3 調査結果

- ①電子カルテなどの医療情報システムや学内システム等への不正なアクセスはない。
- ②現時点で、データの内容等が悪用された事実は認められない。
- ③当該職員のパソコンをウィルス対策ソフトでフルスキャンを実施し、異常が無いことを確認した。

○ 今後の対策

再発防止のため、個人情報保護や情報セキュリティの確保に関する教育研修を強化し、職員の意識向上を図る。

公立大学法人奈良県立医科大学
情報推進室
電話：0744-22-3051（代表）